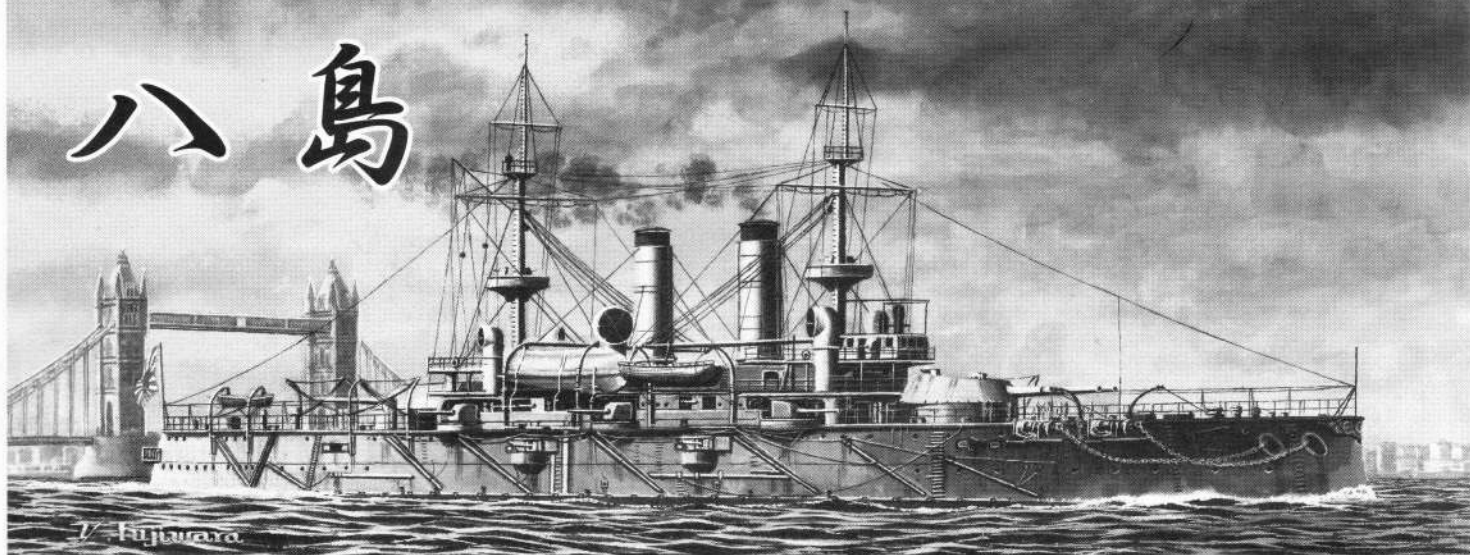


八島

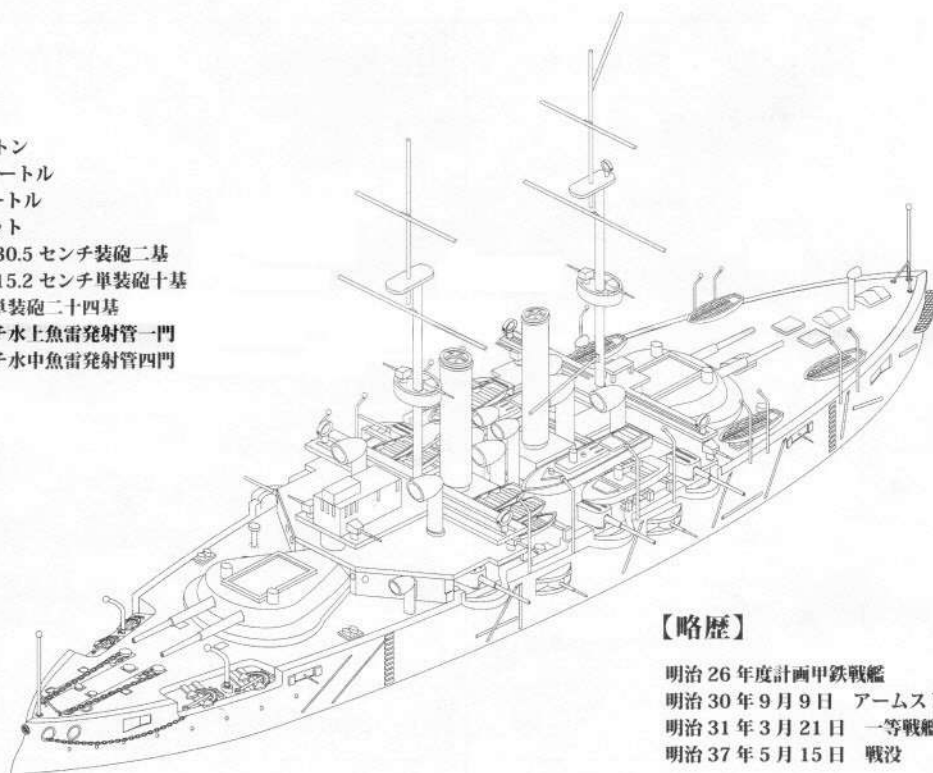


明治 25 年第四議会で、仁礼景範海相が提出した建艦計画はまたしても否決された。清との緊張関係が高まるなか、事態を憂慮した明治天皇は同 26 年 2 月 10 日、皇室費から毎年 30 万円を 6 年間製艦費として下賜し、同年月間官吏の俸給の十分の一も返納してこれに充てる、という詔勅を下した。政府と野党の抗争の激しかった衆議院もこれには動かざるを得ず、議員も進んで俸給の四分の一を製艦費として献金することとし、予算案修正の上、明治 26 年度から 32 年度まで 1,808 万円余を支出することとなった。このような経緯で英国に発注された明治 26 年計画の甲鉄戦艦は、それぞれ「富士」「八島」と名付けられることになる。ちなみに「やしま」とは、日本全体を指す名称である。

明治 37 年 5 月 24 日、旅順口の直接封鎖のため梨羽時起第一艦隊司令官は、戦艦「初瀬」「敷島」「八島」、二等巡洋艦「笠置」、通報艦「龍田」を率いて裏長山列島から出撃し、15 日午前 10 時 50 分頃老鉄山南東に至った。旅順口正面にさしかかったとき、「初瀬」が触雷した。これを救援すべく接近した「八島」も、11 時 10 分頃右舷後部缶室付近に触雷、さらに 1 分後も右舷前部水中発射管室に触雷し、艦は急速に右に傾斜した。反対舷への注水など応急処置に努め、付近へ擱座させるべく午後 4 時 25 分には微速で航行を開始したが、5 時 30 分には右傾斜が 16 度を超え、5 時 41 分遇岩北東 5 裡（旅順当方 20 裡）に投錨、軍艦旗を降下し、総員退去した。8 時 30 分頃まではなお浮いていたらしいが、その後まもなく転覆沈没した。

【新造時要項】

常備排水量	12,320 トン
垂線間長	113.4 メートル
全幅	22.5 メートル
速力	18.3 ノット
主要兵装	40 口径 30.5 センチ装砲二基 40 口径 15.2 センチ単装砲十基 47 ミリ単装砲二十四基 45 センチ水上魚雷発射管一門 45 センチ水中魚雷発射管四門
乗員	741 名



【略歴】

明治 26 年度計画甲鉄戦艦
 明治 30 年 9 月 9 日 アームストロング社エルジック造船所にて竣工
 明治 31 年 3 月 21 日 一等戦艦に類別
 明治 37 年 5 月 15 日 戦没

お買い上げのお客様へ

部品をこわしたり、無くしたりしたお客様には実費にてお付けします。「部品注文カード」に必要なランナーの記号、数量を記入して必ず現金書留でお申し込み下さい。書留の中にお客様の住所、氏名、電話番号を書いたメモを同封下さい。

金額は送料+手数料込み（合計 840 円）と部品代（A、B、C ランナー各 1 枚 1,200 円、部品のバラ売りはありません）です。

■お申し込み

シールズモデルズ 〒164-0011 東京都中野区中央 2-59-11 (有)フォーサイト内 TEL: 03-5337-9051 FAX: 03-5337-9052

八島 部品注文カード

ランナー
 枚

※必ず現金書留でご注文ください。

パーツリスト

[Aランナー]

- 1 甲板
- 2 船体 (右舷)
- 3 船体 (左舷)
- 4 スタンウォーク
- 5~8 舷側板

- 30 前部マスト
- 31~32 ヤード (大)
- 33 給気筒

[Cランナー]

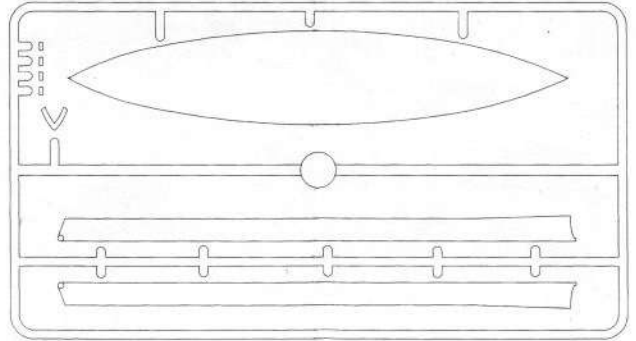
- 1 旗竿
- 2 旗竿支柱
- 5 27ft ホーラー (ダビット穴無)
- 6 42ft ランチ
- 7 36ft 内火艇
- 8 56ft 水雷艇・艇体
- 9 56ft 水雷艇・甲板
- 10 30ft ギグ (ダビット穴有)
- 11 30ft ギグ (ダビット穴無)
- 12 30ft カッター
- 16 通風筒 (大・長)
- 18 15.2cm 砲防盾
- 27 探照灯
- 32 主錨
- 33 錨用ダビット
- 34 ボートダビット (後部甲板用)
- 35 ボートダビット (36ft 内火艇用)
- 36 ボートダビット (ボート甲板用)
- 37 御紋章
- 40 通風筒 (小)
- 41 通風筒 (中)
- 43 47mm 単装砲

[Bランナー]

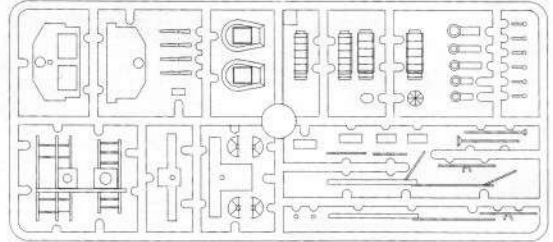
- 1 ボート甲板
- 2 後部艦橋基部
- 3 全部艦橋基部
- 4 後部艦橋
- 5 主砲砲身
- 6 主砲塔
- 7 後部煙突
- 8 全部煙突
- 9 後部煙突キャップ
- 10 全部煙突キャップ
- 11 通風筒 (中)
- 13 通風筒 (小)
- 14 通風筒 (特大)
- 15 後部艦橋上部
- 16 前部艦橋上部
- 17~20 ファイティングトップ
- 21 右舷後部艦橋側面
- 22 左舷後部艦橋側面
- 23 右舷前部艦橋側面
- 24 左舷前部艦橋側面
- 25 前部マストデリック
- 26 後部マストデリック
- 27~28 ヤード (小)
- 29 後部マスト

※上記リスト以外のCパーツは本キットでは使用しません。他キットのディテールアップなどにお使いください。

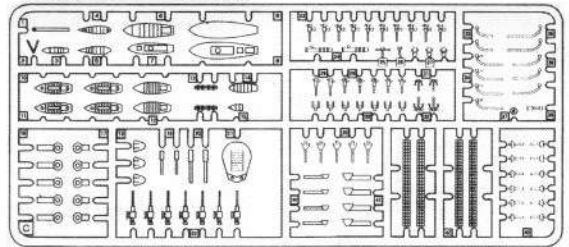
[Aランナー 1枚]



[Bランナー 1枚]



[Cランナー 2枚]

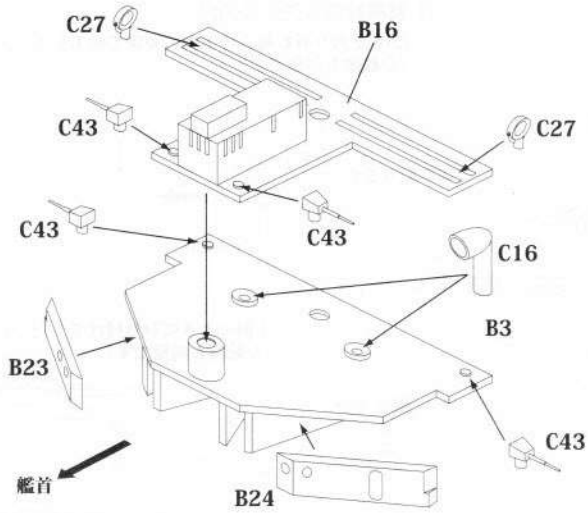


[組立前に必ずお読み下さい]

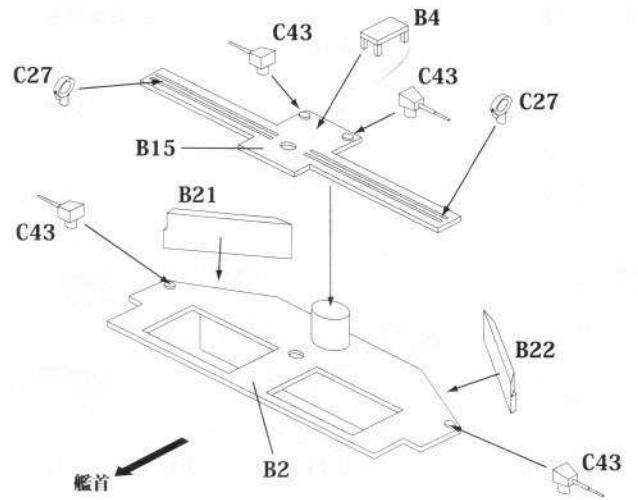
- 組み立てる前に、組立説明書をよく読み、組立手順、加工方法などを把握して、仮組みを充分に行ってください。
- 各部品 (特に小部品) の取付は、平面図・側面図にて位置を確認してください。
- 塗装説明は、GSI クレオス社の Mr. カラーで指定してあります。

<p>I 前部マストの組立</p> <p>両舷に 47mm 砲をつける C43 前 B17,18</p>	<p>II 後部マストの組立</p> <p>塗装 ●探照灯レンズ面・⑧ 銀</p> <p>新造時は切り取る 探照灯 C27 C43 前 両舷に 47mm 砲をつける B19,20</p>	<p>III 第一煙突、第二煙突の組立</p> <p>第一煙突 B10, B8 第二煙突 B9, B7</p> <p>塗装 ●新造時・⑥2 つや消し白 ●(明治34年9月~明治37年1月) 全体・③3 つや消し黒 最上部のみ ⑥2 つや消し白 ●(明治37年1月~) 煙突・③2 軍艦色 (2) B9, B10・③3 つや消し黒</p> <p>モールドをすべて削り取ります</p>
<p>IV 主砲の組立</p> <p>2個作ります</p> <p>塗装 ●(新造時~明治37年1月) 上面四角部分・③3 つや消し黒 その他・⑥2 つや消し白 ●(明治37年1月~) 全面・③2 軍艦色 (2)</p>		
<p>V 56ft 水雷艇の組立</p> <p>塗装 (45) セールカラー ●(新造時~明治37年1月) 煙突・⑨ 金 その他・⑥2 つや消し白 ●(明治37年1月~) 全面・③2 軍艦色 (2)</p> <p>2個作ります</p>	<p>VI 15cm 単装砲の組立</p> <p>6個作ります</p>	<p>VII 船体砲郭部15cm 単装砲加工</p> <p>船体砲郭に取り付ける 15cm 砲は C22 の砲身部分を切り取って使用します。</p> <p>斜線部は不要です</p> <p>4個作ります</p>

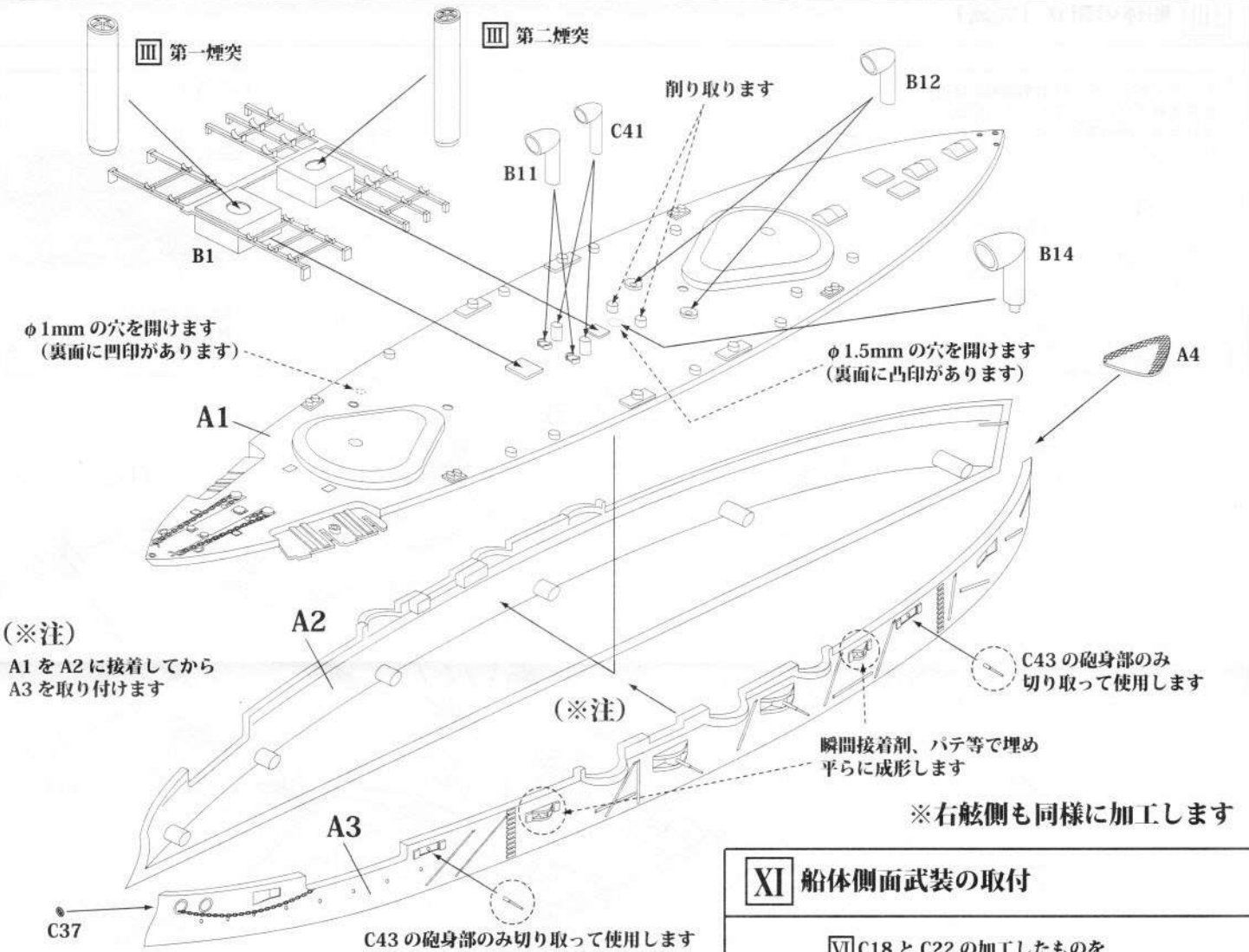
VIII 前部艦橋の組立



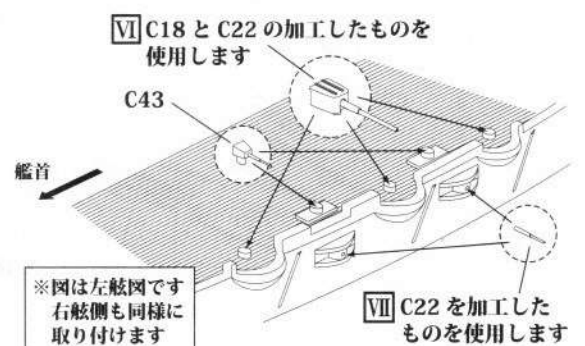
IX 後部艦橋の組立



X 船体の組立

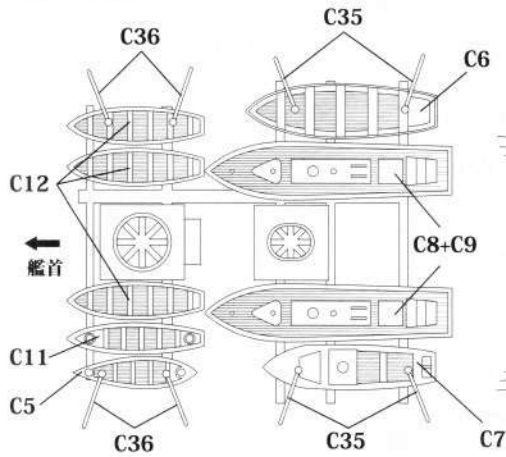


XI 船体側面武装の取付

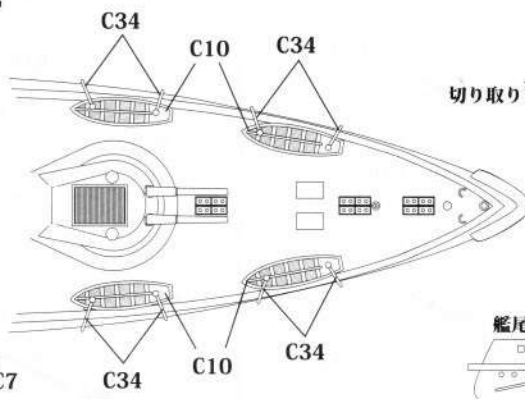


XII ボート及びボートダビット配置図

1. ボート甲板

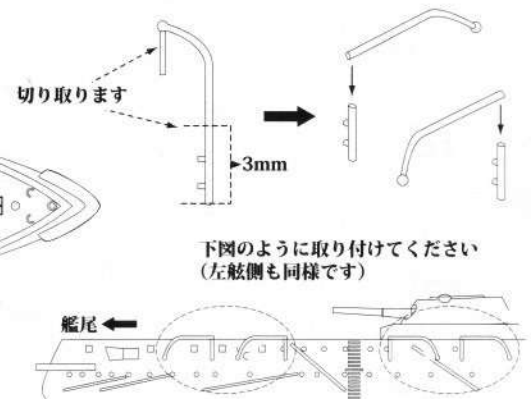


2. 後部甲板



3. 戦闘時折り畳み要領図

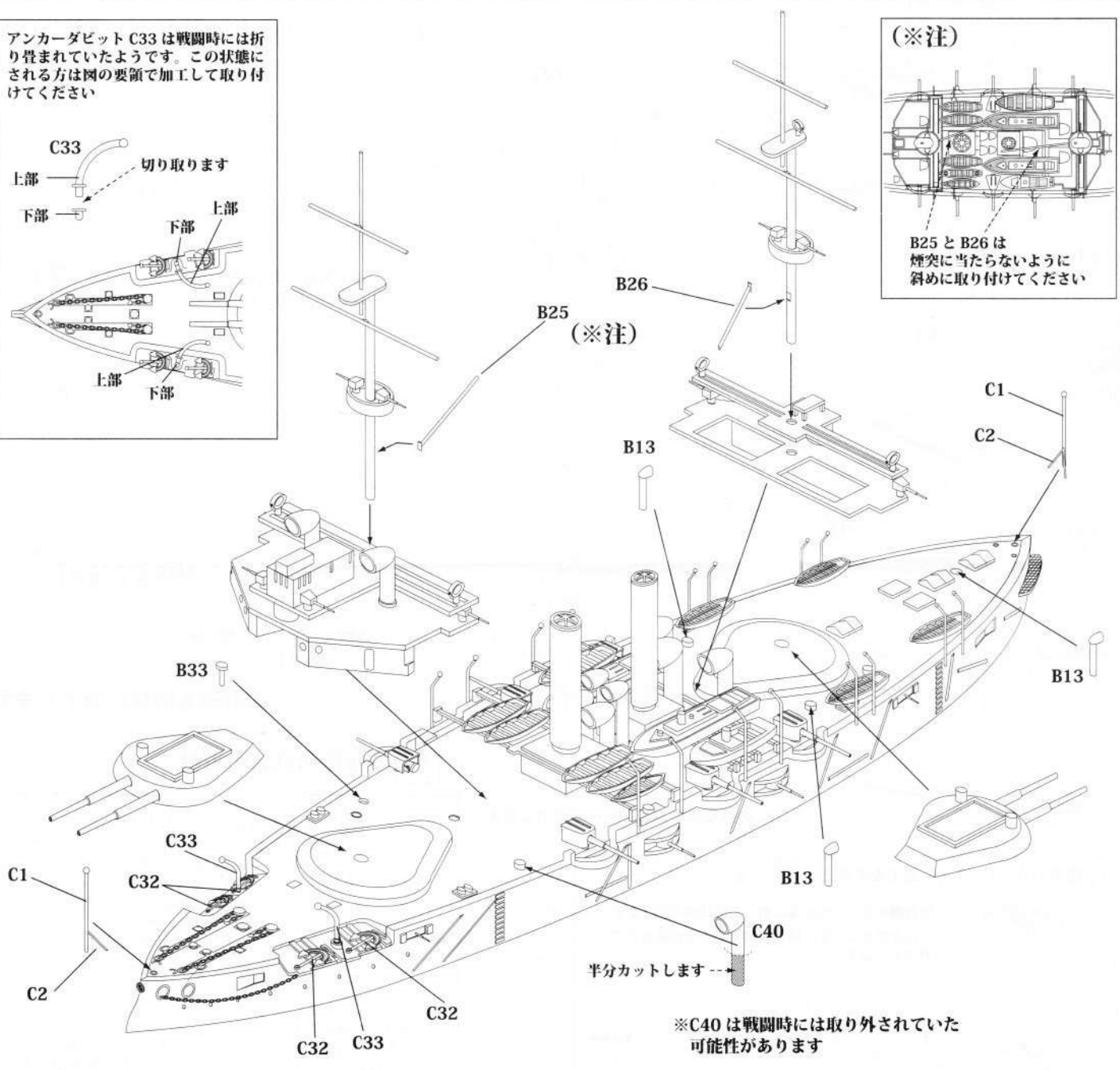
C34 を折り畳む場合は下図の要領で加工してください (左舷側も同様です)



塗装 C7 (36ft 内火艇) ●船体側面・③②軍艦色 (2) ●甲板・④④タン ●上部建造物・③②軍艦色 (2) ●座乗部側面・⑥②つや消し白 ●座乗部底面・④③ウッドブラウン
C5,6,10,11,12 ●船体側面・③②軍艦色 (2) ●座乗部側面・⑥②つや消し白 ●座乗部底面・④③ウッドブラウン

XIII 船体の組立 (完成)

アンカーダビット C33 は戦闘時には折り畳まれていたようです。この状態にされる方は図の要領で加工して取り付けてください



※C40 は戦闘時には取り外されていた可能性があります

日本海軍戦艦 八島

塗装図

【新造時要項】

常備排水量	12,320トン
垂線間長	113.4メートル
全幅	22.5メートル
速力	18.3ノット
主要兵装	40口径30.5センチ装砲二基 40口径15.2センチ単装砲十基 47ミリ単装砲二十四基 45センチ水上魚雷発射管一門 45センチ水中魚雷発射管四門
乗員	741名

【略歴】

明治26年度計画甲鉄戦艦
 明治30年9月9日
 アームストロング社エルジック造船所にて竣工
 明治31年3月21日 一等戦艦に類別
 明治37年5月15日 戦没

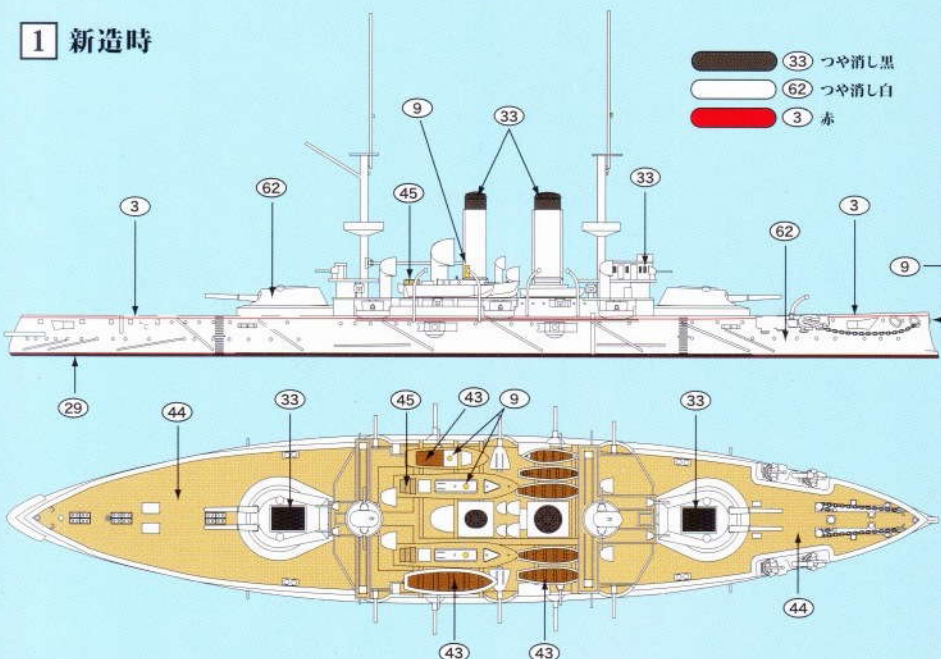
【塗装ガイド】

GSIクレオスのMr. カラーにて指定しています。(印刷ですので実際のカラーとは多少異なります)

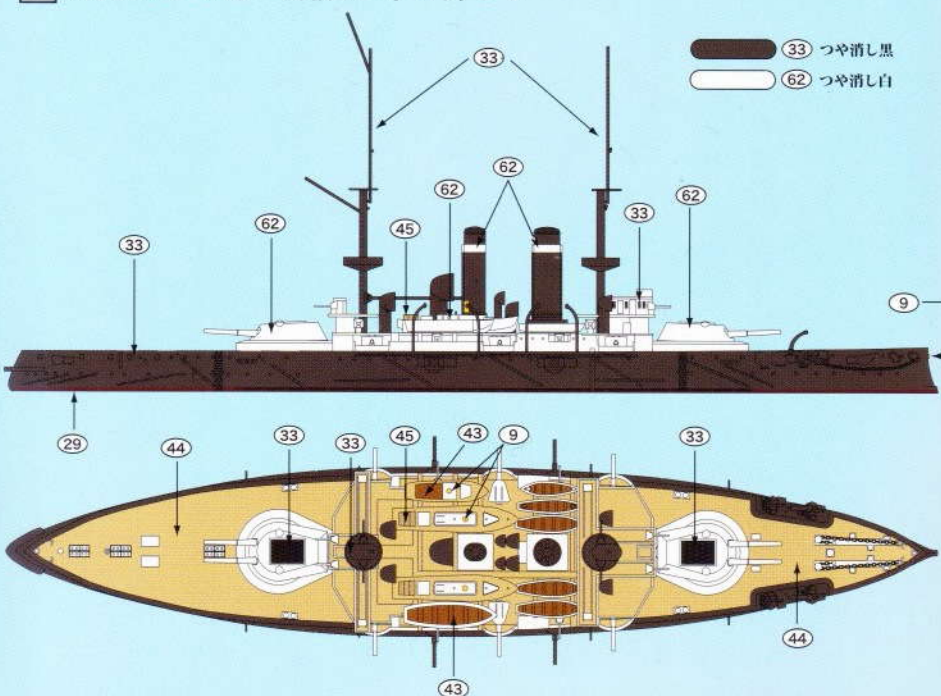
1～3 共通色

 33 つや消し黒	煙突頂部、艦橋窓部	 45 セールカラー	水雷艇キャンバス張部分
 43 ウッドブラウン	ボート内部	 8 銀	探照灯レンズ面
 44 タン	本艦、水雷艇、内火艇甲板部	 9 金	御紋章、1 2の水雷艇、 内火艇の煙突部分
 29 艦底色	軍艦艦底他		

1 新造時



2 明治34年9月～明治37年1月まで



3 明治37年1月～ 1の62つや消し白の部分、32軍艦色(2)で塗装します

※無断転載 複写を禁じます。

シールズモデルズ八島初回限定
日本陸軍 28センチ 砲



大架に左右砲架を
取り付けた後に
砲身を載せます。
大架のピンを

左右砲架

大架

砲台

起重機

砲身

砲台の穴に合わせ、
最後に起重機を
左砲架に取り付けて
ください。
塗装はつや消し黒
です。